

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	2177
部名	企画部	課名	広聴広報課	課長名	白井誠一
事務事業名	市政に関する世論調査事業				
予算上の事務事業名	市政世論調査				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		17110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます				
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				事業開始年度
施策名	第1施策 個性豊かな地域づくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市広報広聴規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 調査・研究 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
市民の市政に対する意識、意見、要望等を統計的手法によつて的確に把握し、市政運営の有効な手段とする。			相模原市在住の20歳以上の男女個人3,000人		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
調査対象	相模原市全域				
調査対象	相模原市在住の20歳以上の男女個人				
標本数	3,000人				
標本抽出	住民基本台帳からの等間隔系統抽出				
調査方法	郵送法(郵送配布 郵送回収、はがき督促2回)				
調査期間	平成16年5月21日(金)～6月14日(月)				
有効回収数(率)	1,833(61.1%)				
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体においても同様の事業を実施している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	2,315	2,078	2,029	2,547	2,547
一般財源	2,307	2,066	2,023	2,544	2,544
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	8	12	6	3	3
人件費の合計	1,435	1,382	1,391	1,391	1,391
事業コスト合計(a)	3,750	3,460	3,420	3,938	3,938
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	市政世論調査			対象名称(単位)	調査件数
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	3,750	3,460	3,420	3,938	3,938
対象数	1	1	1	1	1
単位あたり経費(円)	3,750,000	3,460,000	3,420,000	3,938,000	3,938,000
前年度比		0.92	0.99	1.15	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	調査件数（件）	指標式と指標の説明		世論調査の回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	1.0	1.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	有効回収率	指標式と指標の説明		有効回収数 / 標本数 * 100 回答をした人の割合	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	54.1	59.2	61.1		
目標	60.0	60.0	65.0	65.0	65.0
目標達成度	90.2	98.7	94.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		市民の意識、意見などを的確に把握する手段として、有効であり、必要な事業である。調査回数について、他自治体においても年1回であり、調査回数増は必要ないと思われる。また、設問数を現状より増やすと回収率が低下すると思われるため、現状維持としたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 調査票の発送から報告書の作成まで全部を委託しており、その分析結果、調査結果を基に事業担当課では、施策の立案、施策の方向性を検討する資料としている。そのため、設問を分かりやすく、また、答えやすくし、回収率の向上に努める。			14 課題として認識されたこと 形態等は現状維持で良いと思われるが、回収率を増加させる方策を検討する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			